

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【公開番号】特開2017-111016(P2017-111016A)
 【公開日】平成29年6月22日(2017.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報2017-023
 【出願番号】特願2015-245886(P2015-245886)
 【国際特許分類】

G 0 1 M 3/26 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 M 3/26 A

G 0 1 M 3/26 P

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月24日(2018.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 1 】

ここで、図 2 に示すように、第 1 開閉弁 2 1 より下流の第 1 管 1 1、第 1 管 1 1 との分岐箇所から排気弁 2 4 までの排気管 1 3、接続ポート 4 に接続されたワーク W、第 1 管 1 1 との分岐箇所から第 3 開閉弁 2 3 までの第 2 管 1 2 によって形成される空間を第 3 空間 A 3、第 3 開閉弁 2 3 と第 2 開閉弁 2 2 と差圧計 3 0 の第 2 圧力検出口 3 2 との間の第 2 管 1 2 によって形成される空間を第 4 空間 A 4、第 2 開閉弁 2 2 と差圧計 3 0 の第 1 圧力検出口 3 1 との間の第 2 管 1 2 によって形成される空間を第 2 空間 A 2 とする。また、第 3 開閉弁 2 3を開いて第 3 空間 A 3 と第 4 空間 A 4 を連通させて得られる空間を第 1 空間 A 1 とする。図中、第 2 空間 A 2 は太破線で。第 3 空間 A 3 は太実線で、第 4 空間 A 4 は一点鎖線で示してある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 4 】

図 3 は、リーク検査装置 1 0 が行うリーク検査の手順を示す流れ図である。まず、第 2 開閉弁 2 2を開き、第 3 開閉弁 2 3、排気弁 2 4 を閉じた状態（第 3 空間 A 3 と第 4 空間 A 4 を分離した状態）にした上で、第 1 開閉弁 2 1 を開いて、気体供給源 3 からの気体で、ワーク W を含む第 3 空間 A 3 を目標圧力に充填し（ステップ S 1 0 1）、その後、第 1 開閉弁 2 1 を閉じる（ステップ S 1 0 2）。この圧力は第 2 圧力センサ 2 7 にて計測される。